

水のきらめき

土のぬくもり



「蓮池朝陽」(部分) 昭和54年(1979) 国立国際美術館蔵

追悼

Kobayashi Kogaku

小林恒岳展

2018年12月13日(木) - 2019年2月11日(月) (祝)

主催・会場 ◆ 茨城県天心記念五浦美術館

後援 ◆ 茨城新聞社 / 毎日新聞水戸支局 / 読売新聞水戸支局 / 朝日新聞水戸総局 / 産経新聞社水戸支局
東京新聞水戸支局 / NHK水戸放送局 / 株式会社茨城放送 / 石岡市 / 石岡市教育委員会 / 北茨城市

開館時間 ◆ 午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで)

休館日 ◆ 月曜日(ただし、12月24日、1月14日および2月11日は開館。12月25日と1月15日は休館)・年末年始(12月29日から1月1日まで)

入場料 ◆ 一般620(510)円 / 満70歳以上310(250)円 / 高大生410(310)円 / 小中生210(150)円

※()内は20名以上の団体料金 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳又は指定難病特定医療費受給者証を持参の方は無料 ※1月12日(土)は満70歳以上の方は無料 ※土曜日は高校生以下無料

茨城県天心記念五浦美術館
TENSHIN MEMORIAL MUSEUM OF ART, IBARAKI

〒319-1703 茨城県北茨城市大津町椿2083
Tel.0293-46-5311 Fax.0293-46-5711

五浦美術館 検索

追悼——小林恒岳展

小林恒岳(本名恒吉。1932~2017)は、茨城県を代表する日本画家小林巢居人を父に東京で生まれ、戦後茨城に疎開してからは、一時期上京したものの、長く石岡市高浜や吾国山中腹(旧八郷町)で暮らしました。画業初期に抽象画を試みた小林は、昭和40年代後半になると身近な自然が破壊されていく姿に警鐘を鳴らした具象的な作品を発表、次いで昭和50年代後半以降は水と山に囲まれた茨城の豊かな自然とそこに生きる生き物に温かな眼差しを向けた作品を描くようになります。これらの作品は、小林が自然から感じ取った生命のかがやきとぬくもりを、写実と装飾性を融合させた平明で親しみやすい表現に昇華させ、誰もが共感できる生命讃歌として描きあげたものでした。本展では、小林が主な活動の舞台とした新興美術院展に出品された大作を中心とする59点により、その芸術の全貌と魅力を紹介します。



「蓮池・雲流れる」昭和50年(1975)
茨城県近代美術館蔵



「蓮池朝陽」昭和54年(1979) 国立国際美術館蔵



「独活」(前四題の内) 平成元年(1989) 石岡市蔵



「沼」昭和60年(1985) 公益財団法人常陽藝文センター蔵



「残照」平成3年(1991) 個人蔵

会期中のイベント

■日本画ワークショップ

「にじみを生かして描こう」

日時:1月20日[日] 10:00~15:00
講師:鎌田理絵(茨城県美術展覧会委員)
定員:24名(往復はがきによる申込、抽選制。要材料費)
申込み〆切:12月21日[金]必着
※詳しくは当館ホームページをご覧ください。

■講演会「小林恒岳一ふるさとの自然を描く」

日時:1月14日[月・祝] 13:30~(1時間程度)
講師:中田智則(当館学芸員)
会場:講堂(入場無料/定員114名)

■展覧会担当学芸員によるギャラリートーク

日時:12月16日[日]、2月2日[土] 各日13:30~
集合場所:企画展示室入口(要企画展入館券)

■来て・見て・発見!アートツアー for Kids

日時:1月12日[土] 10:30~(40分程度)
対象:小中学生(参加無料、ただし保護者は要企画展入場券)
集合場所:エントランスロビー

■迎春 いけばな

期間:1月2日[水]~1月6日[日]
場所:美術館入口
協力:草月流
協賛:アートベンチャー・オフィス ショウ

■初笑い!五浦寄席

日時:1月3日[木]
第1部 11:00~ 第2部 14:00~(各回40分程度)
出演:二松亭ちゃん平・相模亭とげ蔵(社会人落語家)
会場:講堂(入場無料/定員114名)

■新春邦楽コンサート「五浦で聴く、和の響」

日時:1月5日[土]
第1部 11:00~ 第2部 14:00~(各回40分程度)
出演:横田銘流(尺八)
会場:エントランスロビー(入場無料)

■茨城県警察音楽隊ふれあいコンサート

日時:1月19日[土]
第1部 11:00~ 第2部 14:00~(各回40分程度)
会場:エントランスロビー(入場無料)
特別出演:北茨城市立常北中学校吹奏楽部(第1部のみ)

ごいっしょに

「開館30周年記念 茨城県近代美術館名品展
ザ・ベスト モネ、ルノワール、大観から観るまで」
2月9日[土]~3月24日[日]
茨城県近代美術館 ☎029-243-5111

当館次回展覧会のご案内

「再興第103回院展 茨城五浦展」
2月23日[土]~3月24日[日]



茨城県天心記念五浦美術館
TENSHIN MEMORIAL MUSEUM OF ART, IBARAKI
TEL.0293-46-5311

撮影OK



感動をアルバムに残そう

自由に展示作品を写真撮影いただけます(一部作品を除く)。いつでも、いつでも恒岳芸術を味わってください。

※フラッシュや三脚等は使用できません。
その他注意事項は当館ホームページをご覧ください。



1月2日[水]・1月3日[木]
《カフェ・カメラ》おしるこ無料

※「カメラ」でお食事された方のみ(お一人様1杯まで)

【共通年間パスポートのご案内】
茨城県立美術館(近代美術館、天心記念五浦美術館、陶芸美術館)主催のすべての展覧会で何回でもご利用いただける共通年間パスポート(一般3,090円/高大生2,060円/小中生1,030円/購入日より1年間有効)を各美術館にて販売中。